学校番号	１０３

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	現代文	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「改訂版　現代文Ｂ」（第一学習社）						
副教材等	「現代文長文記述問題２読解力養成編改訂版」（いいずな書店） 「読解評論文キーワード」（筑摩書房） 「生きる漢字・語彙力増補改訂版」（駿台文庫）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．授業に取り組む姿勢を自ら身につける。
　・テキスト本文を正解に読解し客観的な思考力を身につけること。
　・演習教材は積極的に取り組み、疑問点を明確に意識する。宿題等の提出期限を守る。
２．予習・授業・復習の学習サイクルを維持し、学習内容の定着をはかる。
　・論理的文章は知識や情報を広範囲に探究してみることも必要になる。
　・文学的文章は叙述のつながりに心情の論理を読み取るように授業演習を深めること。
３．応用的思考力を鍛え、記述課題に挑戦し自分の考えに即して表現してみる。
　・基本的な語彙や慣用的表現の理解を深める。
　・論理的思考に即した記述を心がける。

２　学習の到達目標

１．国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
２．思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。
３．言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
４．国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 （発表等の積極性）	行動の観察 （発表内容等の正確性）	記述の確認 （ノート、小テスト、ワークシート） 定期考査	行動の観察 （発表内容等の正確性） 記述の確認 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 （発表内容等の正確性） 記述の確認（ワークシート） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容・学習課題に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	Ⅰ章評論1	「自他の「間あい」」 （鷲田清一） ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・自己と他者の間の「間」が果たす役割について、正しく読み取る。 ・自己同一性を保つうえで他者の存在が持つ意味について、考えを深める。	○	○	○	○	○	a：評論に興味を持ち、進んで基本的な読み方を習得しようとする。 bc：自己と他者の間の「間」が果たす役割について、正しく読み取り、自分自身にひきつけて、意見を交換し、書くことができている。 de：自己同一性を保つうえで他者の存在が持つ意味を考えながら読み、考察を深めている。	a：発問・授業時の反応 bc：ノートへの記入・意見交換 d:発問・定期考査 e:指名読み・発問・小テスト
	Ⅰ章評論2	「日本人の「自然」」 （木村敏） ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・日本語の「自然」という言葉が示す心のあり方を正しく読み取る。 ・「西洋の自然」との比較を通じて、「日本の自然」に対する思索を深める。	○	○	○	○	○	a:左記学習内容について、自分の問題として受けとめている。 bc:自分の考えをまとめ、ノートに書き、発表する。 d:左記学習内容について読み取ることができている。 e:現代文キーワードを理解して内容を読み取ることができている。	a:発問・授業時の反応 bc:ノートへの記入と発表 d:発問・定期考査 e:指名読み、発問・小テスト、プリント
	Ⅰ章評論3	「存在としての建築」 （隈研吾） ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・建築を存在として捉え直すとはどういうことか、正しく読み取る。 ・二十世紀建築に対する筆者の見解をふまえて、人間にとっての本当の豊かさとは何かを話し合う。	○	○	○	○	○	a:左記学習内容について、自分の問題として受けとめている。 bc:自分の考えをまとめ、ノートに書き、発表する。 d:左記学習内容について読み取ることができている。 e:現代文キーワードを理解して内容を読み取ることができている。	a:　発問・授業時の反応、ノートへの記入 b:話し合いへの参加 cd:ノートへの記入・定期考査・感想文 e:指名読み、発問・小テスト、定期考査
	Ⅱ章評論1	「未来世代への責任」 （岩井克人） ・評論の読み方に習熟する。・環境問題について経済学的な側面から理解し、その解決方法について考察を深める。	○	○	○	○	○	a:左記学習内容について、自分の問題として受けとめている。 bc:自分の考えをまとめ、ノートに書き、発表する。 d:左記学習内容について読み取ることができている。	a:　発問・授業時の反応、ノートへの記入 b:話し合いへの参加 cd:ノートへの記入・定期考査・感

								e:現代文キーワードを理解して内容を読み取ることができている。	想文 e:指名読み、発問・小テスト、定期考査
		「こころ」(夏目漱石) ・近代の代表的な小説を読むことによって、近代という時代や、時代と人間との関係について理解を深める。・小説に描かれた人間の心理をじっくり読み込む。・主人公の心情を自分に引きつけて理解する。 (夏期課題)	○			○	○	a:左記学習内容について、自分の問題として受けとめている。 d:左記学習内容について読み取ることができている。 e:小説の構造を理解して内容を読み取ることができている。	a: 発問・授業時の反応、ノートへの記入 d:ノートへの記入・定期考査・感想文 e:発問プリントの取り組み状況
2学期	Ⅰ章評論5	「動的平衡」(福岡伸一) ・評論の読み方に習熟する。 ・筆者の言う「動的平衡」という概念を理解する 。・バイオテクノロジーの利用とその問題について考えを深める。	○		○	○	○	a:左記学習内容について、自分の問題として受けとめている。 c:自分の考えをまとめ、ノートに書く。 d:左記学習内容について読み取ることができている。 e:現代文キーワードを理解して内容を読み取ることができている。	a: 発問・授業時の反応 c:ノートへの記入 d: 発問・定期考査 e:指名読み・定期考査、小テスト、発問
	Ⅰ章小説2	「タオル」(重松清) ・小説の基本的な読み方を習得する。 ・場面の展開と、登場人物の心情について、正しく読み取る。	○	○	○	○	○	a:小説の基本的な読み方として、場面の展開と、登場人物の心情について、正確に読み取ろうとしている。 bc:自分の考えをまとめ、ノートに書き、発表する。 d:左記学習内容について読み取ることができている。 e:小説の構造を理解して内容を読み取ることができている。	a: 発問・授業時の反応 b:話し合いへの参加 c:ノートへの記入・定期考査 d: 発問・定期考査 e:指名読み・新聞記事の検索・定期考査、小テスト、発問
	Ⅰ章評論6	「連帯という言葉の意味」(内山節) ・評論の読み方に習熟する。・筆者が指摘する、近現代における「連帯」の定義の問題点を理解する。 ・筆者の言う生命活動の結びあいについて、自分の身に引きつけて考える。	○	○	○	○	○	a:左記学習内容について、自分の問題として受けとめている。 bc:自分の考えをまとめ、ノートに書き、発表する。 d:左記学習内容について読み取ることができている。 e:現代文キーワードを理解して内容を読み取ることができている。	a: 発問・授業時の反応 bc:ノートへの聞き取ったことの記入・感想文・定期考査 d: 発問・定期考査 e:指名読み、発問・小テスト

2学期	Ⅱ章評論2	「言語が見せる世界」 （野矢茂樹） ・評論の読み方に習熟する。 ・「プロトタイプ」という概念とその形成について理解する。 ・「世界を語り尽くすことはできない」とはどういうことか話し合う。	○	○	○	○	○	a:左記学習内容について、自分の問題として受けとめている。 bc:自分の考えをまとめ、ノートに書き、発表する。 d:左記学習内容について読み取ることができている。 e:現代文キーワードを理解して内容を読み取ることができている。	a: 発問・授業時の反応 ｂc:ノートへの聞き取ったことの記入・感想文・定期考査 d: 発問・定期考査 e:指名読み、発問・小テスト
3学期	Ⅱ章評論5	「目に見える制度と見えない制度」（中村雄二郎） ・評論の読み方に習熟する。 ・人間をとりまく制度に対する関心と問題意識を深める。	○	○	○	○	○	a:左記学習内容について、自分の問題として受けとめている。 bc:自分の考えをまとめ、ノートに書き、発表する。 d:左記学習内容について読み取ることができている。 e:現代文キーワードを理解して内容を読み取ることができている。	a:発問・授業時の反応 bc:班での協力して読み取る・ノートへ記入 d:発問・定期考査 e:指名読み、発問・小テスト
	Ⅰ部評論6	「リスク社会とは何か」 （大沢真幸） ・評論の読み方に習熟する。 ・「リスク」が一般化する背景を正しく読み取る。・リスク社会における「リスク」が及ぼす影響について、自分が生きる社会の問題に当てはめて考察する。	○		○	○	○	a:左記学習内容について、自分の問題として受けとめている。 c:自分の考えをまとめ、ノートに書き、発表する。 d:左記学習内容について読み取ることができている。 e:現代文キーワードを理解して内容を読み取ることができている。	a:発問・授業時の反応 c：ノートプリントへの記入 d:発問・定期考査 e:発問・定期考査、指名読み、小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。